



## 【中学校】音楽

平成31年2月7日（木）上里町立上里北中学校

授業者 鈴木 洋祐 教諭

### 1 授業のポイント

#### (1) 展開につながる導入の工夫

ピアノ伴奏に合わせて体をほぐし、体の脱力や息の流れを意識させる。発声練習ではブレスの仕方、腹の支えなどポイントを示し本時の学習につなげていく。



#### (2) 生徒たちの心をほぐす教師の表情

教師がイメージする学習の雰囲気となるよう豊かな表情で指導する。



#### (3) 主体的・対話的で深い学び

グループ別練習では、より豊かな響きで歌うための「5つの練習法」を教師が提示し、それぞれのグループの課題を確認させる。生徒たちは練習法を選び、互いに学び合いながら表現方法を工夫していく。具体的な練習方法が示され、生徒たちの主体的な学習が展開されている。



## 2 参加者の感想

- 導入から、体ほぐしの運動や発声練習で楽しくあたたかい授業の雰囲気を作られていました。生徒に対する先生の言葉がけが大変わかりやすく、自分の授業にも取り入れていきたいと思いました。また、学びの合い中で生徒たちが自らの課題を見つけ主体的に取り組む姿が見られたり、お互いにアドバイスする姿が見られたりして充実した活動になっていることが伝わってきました。
- 指導案を見て、どのような展開になるのか楽しみにしていました。授業が始まると導入から驚きの連続でした。テンポよく、生徒たちも授業の流れに慣れていて、普段から素晴らしい授業をされているのが見て取れました。展開の中の「5つの練習方法」はぜひ、取り入れたい内容でした。生徒たちが自ら課題を見つけ、方法を選択する活発な活動が見られよかったです。

## 3 授業の様子



# 第1学年3組 音楽科学習指導案

日 時 平成31年2月7日(水) 第5校時  
場 所 北校舎3階 音楽室  
生徒数 男子14名 女子16名 合計30名  
授業者 上里町立上里北中学校 鈴木 洋祐

## 1 題材名 豊かな響きの混声合唱を目指して

## 2 題材について

### (1) 生徒の実態

本学級は、素直で伸び伸びとした生徒が多く、音楽活動にも前向きで意欲的に取り組んでいる。特に、歌唱活動においては、とても意欲的であり、毎時間一生懸命取り組むことができる。

1学期の授業では、正しい姿勢、発声を中心に合唱の授業を展開した。生徒たちは、声量を増やそうとすることで声を押しすぎてしまい、結果的に響きが崩れてしまうことが多かった。そのため、ブレスや母音唱の練習を繰り返し行い、声を響かせる意識を持てるように指導している。しかし、基礎練習では響きが意識できていても、曲になると音程や強弱などに意識が向いてしまい、響きへの意識が疎かになってしまっているのが課題である。口の中の形や声の方向性を大切にして響きを意識し、生徒たちが豊かな響きで合唱の喜びを感じて歌えるよう指導したい。

### (2) 題材設定の意図

学習指導要領の第1学年の表現の内容(1)のウの(ア)に「創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能」、(イ)に「創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能」とあり、歌唱の活動において混声3部合唱の響きや表現の豊かさを味わいながら、合唱を工夫するために必要な技能の習得できるようにしていく。そして、ピアノ伴奏や友達の声と合わせることで合唱の喜びを感じられるようにする。

今までの歌唱表現の授業では、「校歌」「夏の日贈りもの」「ふるさと」「赤とんぼ」などを学習した。これらを通して、歌う楽しさやハーモニーの美しさ、合唱による表現の豊かさを学んだ。本題材では混声3部合唱「旅立ちの日に」を扱う。理由は2つあり、1つ目は生徒たちが小学校において同声2部合唱の「旅立ちの日に」を学習し、学校行事で歌った経験もあり曲に対しての想いが深いこと。2つ目は、ハーモニーの美しさや曲調の変化など、合唱の良さを味わうことのできる合唱曲であること。また、小学校の時の思い出や中学校の今のクラスの生活を振り返りながら、歌詞を味わって歌うことのできる曲である。歌詞への想いを音楽表現への想いに繋げ、創意工夫する意欲を引き出していきたい。必要な技能を身につけさせ、曲への想いを表現し、生徒たち自らが主体的・協働的に学習できるよう、グループでの活動の仕方も工夫していきたい。

## 3 題材の目標

- (1) 歌唱活動の楽しさや曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。
- (2) 混声3部合唱の響きを味わい、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ表現を工夫する。
- (3) 歌詞の内容や曲想を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につける。

## 4 教材について

(1) 「旅立ちの日に」 作詞：小嶋 登 作曲：坂本浩美 補曲・編曲：松井孝夫

(2) 題材の特徴と教材選択の理由

「旅立ちの日に」は、1991年の3月に、埼玉県秩父市影森中学校の卒業生に「3年生を送る会」のステージでサプライズとして教員で歌われたことが初演であった。当時、他校から一緒に影森中学校に校長先生として着任された小嶋登先生と「歌声の響く学校にしよう」ということ

を合い言葉に、様々な活動に積極的に取り組む日々が続き、その学校が生まれ変わる原動力となった3年生のために、坂本浩美先生は曲を作ることを思いついたと語っている。曲が作曲されてからしばらくは影森中学校だけで歌われた曲であったが、次第に他の小中学校でも歌われるようになった。当時、東京都の中学校で音楽教諭を務めていた作曲家の松井孝夫先生は、この曲を知り、混声三部合唱への編曲を行った。これが雑誌『教育音楽』に取り上げられたことで1998年頃までに全国の学校で歌われるようになった。曲の構成は、ユニゾンから始まり、女声と男声の2部、そして3部へと少しずつハーモニーが重ねられていく。そして、最後にはテンポも速くなり、女声と男声の掛け合いによる躍動感のある曲調となって曲を締めくくる。小学校でも歌ったことのある曲で興味関心も高い曲であるが、中学生になって心が成長した段階で改めて歌詞の良さや旋律の美しさ、ハーモニーの豊かさに触れながら合唱の喜びを感じさせられるようにしていきたい。そして、創意工夫を生かしたより良い表現をするための基礎的な歌唱表現の技能を身につけられるようにしていきたい。

## 5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連及び具体的な学習活動

指導事項	A 表現 (1) ウ (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能	
「共通事項」	ア	音色 速度 旋律 テクスチャ 強弱
	イ	フレーズ Moderato
具体的な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞への想いを、創意工夫して音楽で表現する意欲をもつ。</li> <li>・思いや意図を歌唱によって表すことのできる発声の仕方を身につける。</li> <li>・他者や他の声部の声、全体の響きなどを意識して、合わせて歌うよさや必要性を感じ表現する。</li> </ul>	

## 6 評価規準(題材の評価規準及び学習活動における具体的な評価規準)

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽の創意工夫	ウ 表現の技能
題材の評価規準	①歌詞の良さや旋律の美しさを味わい、音楽表現を工夫しながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、身体の使い方などの技能を身に付けて歌おうとグループで主体的・協働的に歌唱活動をしている。	①音楽を形づくっている、音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。	①全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能を身につけて歌っている。 ②歌詞の内容や曲想を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。
1時	①		
2時	①		①
3時	②		
4時		①	②

## 7 指導と評価の計画

(省略)

## 8 本時の学習指導(本時3/4時)

### (1) 本時の目標 望ましい響きに向けて、豊かな表現で合唱しよう。

- ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、身体の使い方などの技能を身に付けて歌おうとしている。

## (2) 展開

項目	○学習内容 ・学習内容	○指導上の留意点 ☆評価規準
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体ほぐし・発声練習               <ul style="list-style-type: none"> <li>・息の出し方、声の出し方、表情の確認、体の使い方の確認を行う。</li> </ul> </li> <li>○「旅立ちの日に」の歌の確認 (2番の歌詞～最後まで)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音程や曲想の付け方の確認をする。</li> </ul> </li> <li>○目標の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいを知ると共に、本時の学習の見通しを持つ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブレスの仕方や口の中の開け方を確認し、頭声発声を意識させる。</li> <li>○音程に応じた発声の仕方を意識させる。</li> <li>○一生懸命行う生徒を褒め、朗らかな雰囲気で歌えるようにする。</li> <li>○音程を取ることが難しい部分のパートの音をピアノで弾き、音程を確認できるようにする。</li> <li>○ピアノを弾きながら曲想の指示を出すことで、曲の雰囲気のイメージしながら歌えるようにする。</li> <li>○曲の盛り上がりを意識して歌うための響きを獲得できているか確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>望ましい響きに向けて、豊かな表現で合唱しよう。</b> </div>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「旅立ちの日に」のグループ別練習               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「旅立ちの日に」の課題となる箇所を確認し、より美しく豊かな響きで歌うための5つの練習法を知る</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>《課題》</p> <p><b>A</b>: 「心かよった」～「夢をたくして」</p> <p><b>B</b>: 「いま、別れのとき」～「大空に」</p> <p>《練習法》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深い響きで歌いたい →「ホ」で歌う(サンタ練)</li> <li>・高い音を出やすくしたい →リップロールで歌う(プロペラ練)</li> <li>・ボリュームを増やしたい →体幹を意識する(斜め練)</li> <li>・音を長く伸ばしたい →仰向けで歌う(ゴロ練)</li> <li>・音程を確認しながら歌いたい →手を口と耳につけて歌う(もしもし練)</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに歌い方のヒントを参考に練習していく。</li> <li>○練習した課題の確認 (2番の歌詞～最後まで)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音程、発声の仕方や曲想の付け方の確認を行う。</li> <li>・「旅立ちの日に」を通して練習する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートに課題や練習法、練習の仕方を書き、グループごとに活動が進めやすいようにする。</li> <li>○1つ1つの練習法を確認し、生徒同士で活動のイメージを膨らませられるようにする。</li> <li>○グループ内で2つに分かれて順番に歌い、互いに聴き合うことで自分たちの歌声について客観的な意見を確認し合う。</li> <li>○活動では、課題に対して、5つの練習法の中から練習法を選び、自分たちで歌いながら試していくようにする。</li> <li>○パートごとにグループに分けると共に、各パートの音が混ざらないよう、音楽室の隊形を工夫する。</li> <li>○教師が各グループの練習を聴きながらアドバイスをすることで、より豊かな声の獲得ができるようにする。</li> <li>☆創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、身体の使い方などの技能を身に付けて歌おうとグループで主体的・協働的に歌唱活動をしている。[ア関心 活動観察]</li> <li>○各課題を時間で区切り、その中で練習していくようにする。</li> <li>○教師によるアドバイスを聴きながら、合唱隊形で練習する。</li> <li>○それぞれ練習したことを生かすことができるように声がけをすると共に、全体で合わせた時の響きをより豊かになるよう意識できるようにする。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習の振り返り               <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を自分の言葉でまとめたり、発表を聞いたりすることで、本時の学習を振り返る。</li> <li>・次時の学習の見通しを持つ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合い、良くなった点や課題点を確認する。</li> <li>○良くなった点、課題点について考え、クラス全体で共有し、次時の学習課題を確認する。</li> </ul>